

## 摘要

リシリシノブ群は、はじめ、Bower (1928) によって *Gymnogrammoid Ferns* のなかで比較的原始的な一群として設定され、Christensen (1938) によって内容の一部を変えて同亜科の第1連として分類学的に取扱われた概念であるが、両氏に共通なこの群の属はリシリシノブ属、タチシノブ属および中米特産の *Llavea* 属の3属である。これらの3属をそれぞれ代表するものとしてリシリシノブ *Cryptogramma crispa*、タチシノブ *Onychium japonicum* および *Llavea cordifolia* の前葉体を記述した。これら3属の前葉体は記述のようにそれぞれ特殊であり、リシリシノブ群の前葉体は定義し得ない。本群を含めて、いわゆる *Gymnogrammoid Ferns* の前葉体の記述がきわめて乏しい現状ではこれら3属の類縁に関する論議は将来に保留する。

○トキイロフデリンドウ (浅井康宏) Yasuhiro ASAI: On *Gentiana zollingerii* form. *violascens* f. nov.

フデリンドウは周知の如く、東亜の温帯に分布する越年草で、我国でも北海道から九州に至る各地に広く生育している。従来、本種の変りものとしては、津山尚博士がシロバナフデリンドウ (Journ. Jap. Bot. 16: 502, 1940) を発表しておられる。筆者も以前より、本種の花冠が可憐なスミレ色(淡桃紫色)を呈する一品の存在を注目していたが、これにトキイロフデリンドウの名を与える。

*Gentiana zollingerii* Fawcett form. *violascens* Asai, f. nov.

Corolla violacea vel purpureo-rosea, cetera ut in typo.

Nom. Jap. Tokihiro-fuderindô (nov.).

Hab. Hondo; On sunny grass field under the deciduous forest of Ohsawa, Mitaka-city, Prov. Musashi. (Y. Asai, Apr. 17, 1964—Typus in TI).

(東京歯科大学)

○ミヤマシオガマの白花品 (渡辺定元) Sadamoto WATANABE: A new form of *Pedicularis apodochila*.

シオガマギク類には白花品がよくみられるが、ミヤマシオガマにも白花品がみつかった。岩手県早池峰山の蛇紋岩地帯で採集したものである。シロバナミヤマシオガマと新称する。

*Pedicularis apodochila* Maxim. form. *albiflora* S. Watanabe, f. nov.

Flores albi.

Nom. Jap. Shirohana-miyamashiogama.

Hab. Honshu, Prov. Rikuchû: Mt. Hayachine (S. Watanabe, June, 16, 1964—Typus in TNS).

(林野庁計画課)